

動物実験に関する自己点検・評価報告書

神奈川大学

2024 年 10 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 公私動協の雛形をもとにした機関内規定を策定した。神奈川大学の学内諸規定、規則との擦り合わせや、機関内規定としての文言の細部については、神奈川大学動物実験委員会で議論を重ねて決定した。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 公私動協からもたらされる情報については、常に動物実験委員会内で情報共有をしている。動物実験委員会の会議の場で、動物実験委員会規程についての点検を行っている。文部科学省からの通達や公私動協からの情報にはよく目通しをして、講習会参加で知識をバージョンアップしている。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会で作成した、様式1(動物実験計画書)、様式1別紙(実験実施者追加変更届)、様式2(動物実験報告書および自己点検票)、様式3(実験動物飼養保管状況の自己点検票)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験の事前申請の態勢を徹底している。2)の様式については、公私動協の雛形を参照にして作成した。様式1,2,3ともに、動物実験委員会内で十分な回覧時間を設け、批判できるようにしている。今後、4Rの原則を遵守した動物数の適正な算出を行ったか等の記載項目を加えていく。
4) 改善の方針、達成予定時期 様式の改定を動物実験委員会で議論し、上記3)の内容を新しい書式に盛り込んでいく。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学哺乳類飼育室緊急時対応マニュアル。 様式1(動物実験計画書)。
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 神奈川大学哺乳類飼育室緊急時対応マニュアルを設けており、哺乳類飼育者、動物実験委員会内でマニュアルを共有している。理工系4学部の学部長ならびに安全管理の責任部署である総務課のオルガナイズする、理工系安全委員会のメンバーとして、動物実験委員長が就任。
4) 改善の方針、達成予定時期 2026年度末までに学内の組換えDNA実験安全委員会との連携、情報共有体制を精査して改善する。化学生命学部、理学部、大学院理学研究科、工学研究科のトップとの緊急連絡体制のしくみも作る。哺乳類飼育室からの動物の逸走を防ぐ二重三重のフェイルセーフ設備の充実を図る。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管マニュアル標準操作手順書（神奈川大学動物実験委員会で共有）、様式4（飼養保管施設承認申請書）、様式5（動物実験室設置承認申請書）、様式6（施設等の変更・廃止届）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
4) 改善の方針、達成予定時期

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

神奈川大学組換えDNA実験安全委員会との連携を密にしている。委員も一部委員（事務局研究コンプライアンス課長を含む）が重なることで、両委員会の情報共有が促進されている。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学動物実験委員会規程。 神奈川大学動物実験委員会議事録。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 毎月第2木曜日の昼を定例の委員会開催日として、かなりの頻度で活動を行っている。研究コンプライアンス部署である、研究支援部研究コンプライアンス課の課長（委員）、課員（オブザーバー）に出席して頂き、事務局との連携も密にしている。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験措置の苦痛のカテゴリー表。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物飼育場所である、哺乳類飼育室、淡水生物飼育室、海水生物飼育室については、実験責任者、実験従事者以外の立ち入りは、施錠することで厳しく制限している。2023年12月に淡水生物飼育室のドアの改修工事を行い、淡水生物飼育室の施錠体制がより確実なものとなった。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学_動物実験に関する現況調査票。
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 神奈川大学_動物実験に関する現況調査票については、神奈川大学動物実験委員会、ならびに事務局研究支援部研究コンプライアンス課で回覧して、点検を行っている。文部科学省の動物実験関連アンケートに動物実験委員会で回答案を審議した上で回答している。哺乳類飼育室、飼育設備の点検も随時行い、学内の理工系安全委員会に動物実験実施状況を詳しく報告する。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学_動物実験に関する現況調査票。飼養保管マニュアル。前年度の様式2,3。 感染性廃棄物の廃棄時のログブック。微生物モニタリング記録。緊急連絡先。
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 神奈川大学_動物実験に関する現況調査票については、神奈川大学動物実験委員会、ならびに事務局研究支援部研究コンプライアンス課で回覧して、点検を行っている。 感染性廃棄物については、専門業者に事務強を通じて処理を付託している。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管マニュアル標準操作手順書（神奈川大学動物実験委員会で共有）、様式4（飼養保管施設承認申請書）、様式5（動物実験室設置承認申請書）、様式6（施設等の変更・廃止届）。 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 温湿度のロガーの記録を見ると、飼育温度が20-26℃の範囲に収まらないことがある。また湿度40-60%を超えて、湿度70-100%になってしまっていることもある。動物飼育室のオートクレーブ設備の充実も図りたい。
4) 改善の方針、達成予定時期 神奈川大学事務局総務部施設課とは、動物飼養保管室のアップグレードや点検保守について、連携を密にしていく。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 理学部生物コース安全ガイダンス配布資料。 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」。 公私動協の講習会試料（「実験動物管理者の教育訓練2024」）。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 対象者（実験従事者）への教育訓練は行われてきたが、その内容については、上記の「基準の解説」や、公私動協の指定する教育訓練内容の全てを網羅しきれていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 人獣共通感染症の防止の方策などについて、次年度以降、教育訓練に盛り込んでいく。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 神奈川大学_動物実験に関する自己点検・評価報告書 神奈川大学HP
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価報告書は、神奈川大学動物実験委員会で共有し、報告書をもとに議論をしている。また、事務局研究支援部研究コンプライアンス課とともに自己点検・評価報告書を共有し、フィードバックを頂いている。情報公開については、神奈川大学HPで行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

神奈川大学理工系安全委員会(工学部、理学部、建築学部、化学生命学部で構成)において、神奈川大学動物実験委員会の活動状況について年数回報告を行っている。担当部署である研究コンプライアンス課、総務課、施設課と動物実験委員会との連絡も密である。
